

9大学対抗カレーグランプリ

# 地元の美味満載

## 兵庫大2位



右「カレーグランプリ」で兵庫大生が販売したレトルトカレーと「稲美の野菜ピクルス」  
左「加古川和牛の牛すじカレー」兵庫大

8月下旬に宝塚阪急（宝塚市栄町2）で開催された大学対抗カレーグランプリで、兵庫大学（加古川市平岡町新在家）の「加古川和牛の牛すじカレー」が2日間の売り上げで2位となった。健康科学部栄養マネジメント学科の学生12人が調理や販売、呼び込みなどを担当。テイクアウト販売の目標100食を上回る人気に、兵庫大は「地元ブランドの味を広げていきたい」とし、加古川市のふるさと納税返礼品登録を目指すという。（増井哲夫）

大学対抗カレーグランプリで総売上2位になった兵庫大学の出店コーナー＝宝塚阪急（兵庫大提供）



兵庫県と大阪府の9大学が各2日間出店し、レトルトとテイクアウトメニューの総売上高を競った。兵庫大は昨年、同じカレーで出場。ごろごろ入ったすじ肉、甘みとスパイスのバランスが好評を得た。今回は学生が考案したピクルスも加え、挑戦。材料にミニトマトやパプリカなど稲美町の野菜と地元の調味料メーカー「キング醸造」のまろやかな穀物酢を使った。

出店で調理など中心的役割を担ったのは4年生たちだ。川島和真さん(22)は紫黒米をブレンドした紫色のご飯を炊く係。「炊きたてのご飯と一緒に食べてほしい」とカレーの販売状況を見ながら炊飯し、保温容器に入れておく時間を最小限にした。

4年生たちは販売や呼び込みの手伝いにも回った。盛り付けの合間にチラシを配った岡留偉士さん(22)は「女性客から『昨年食べておいしかったので今年も楽しみにしてたのよ』と言われ、うれしさがこみ上げた」という。

兵庫大はレトルトでも千食超を販売する人気ぶりだったが、価格設定の安さなどが影響し、1位の園田学園女子大学（尼崎市）にあと一歩及ばなかった。指導した同学科の富永しのぶ准教授は「内容的には負けていなかった。来年も開催されるなら、学生にはさらに改良を加えた商品で挑戦してほしい」と話した。

レトルトカレー（648円）とピクルス（1瓶205g700円）は兵庫大購買部で販売している。☎079・426・6711

ふるさと納税返礼品登録目指す